

志小安全・防災だより



R元.10.23 NO.24
安全・防災担当:早坂 潤

台風19号に対応し、体育館が避難所となりました

10月12日(土)の夕方からだんだん風が強くなってきたかと思ったら、午後8時過ぎには暴風雨となり、学校の周りで停電が発生している情報が入ってきました。町では学校の体育館を避難所として解放しており、入り口前に受付を設置し、万が一に備えていました。体育館の窓ガラスは風による揺れとガラスにあたる雨の音ですさまじくなり、ガラスが割れないか心配でしたが、役場の危機管理課の方もいてくださり、現在の情報を得ることができたので心強かったです。午後10時過ぎに避難所の体育館には、家に高齢者がいらっしゃる方が避難所の様子をうかがいに来ましたが、その後は誰も来る気配はなく、体育館に鳴り響く暴風雨の音と、現在の台風情報を知らせるラジオの音だけが聞こえている状態でした。明けて13日(日)午前1時30分頃に避難をしてきた人が一人来たことを知らされ、職員室から体育館に行ってみるとすでに受付を済ませ、学校の職員と話をしているところでした。その方の話だと、遅くまで仕事をしていたら、店の中に水が入ってきて足首あたりまで浸水したのでこれはだめだと思い、店から出たら自分の胸まで水につかってしまったとのことでした。救助をしてくれた人から、避難勧告が出されていたにもかかわらずその場にいたことをきつく注意されたとのこと。このとき、大水が志中大橋近くまで来ていました。避難された方は、「震災の体験がありながら今回は大丈夫だろうという気持ちと、災害発生への見通しをもてなかったことが、このように危うく自分の命を失うことになった。」と語っていましたが、人事ではないことを痛感しました。



役場の危機管理課の方と、本校の技師が避難所の主な対応を行いました。

台風19号が去った後はこのような状態があらこちらで・・・



志中大橋の下は13日6時には水が引いていましたが水はここまでできていました。



田尻畑から旭が丘に抜ける山道では、山が崩れ道をふさいでいました。



秋目川バス停近くの道路は川の増水で土がえぐり取られていました。

※ まず、子どもたちが無事で何よりです。今回のことを教訓としてさらに防災安全教育を充実させていきます。